

質問1 基本政策5 教育環境の充実と学校施設の整備について

ここでは、「こども、教職員、地域の意見」とありますが、ご意見を求める際にどのような情報を知っていただく必要があると考えているのか伺います。

質問2 基本施策3 地域の実態に沿った自転車利用環境の整備について

①なぜ「駅前から一定程度離れた場所に配置するなど」という文言を削除したのでしょうか。

②一般論として、ウォークアブルな街づくりとは、車を中心とした街路空間を“人中心”に再構築するものだと考えます。しかし、武蔵野市は車についてどうするのかということももっと考えなければならないと思います。その点についてどうお考えか伺います。

質問3 行財政について

①1年後の見直しにしては、歳入についても、歳出についても大きな変化があったと思いますが、歳入においては、市税、繰入金、市債などの変化を中心に、歳出においては、人件費、扶助費、物件費、投資的経費などの変化を中心に、懸念されていること、注意すべきことがあったらお知らせいただきたいです。

また、本計画案と第6期長期計画調整計画（以下、6長調）対比での市債残高の変化と基金残高の変化は以下ようになっており、市債残高が大きく増加することや基金残高の減少が確認されています。この先20年後、30年後において健全性が維持され则认为でしょうか。

令和6年度 → 令和10年度

- ・6長調・基金残高 579億円 543億円（36億円の減少）
- ・6長調・市債残高 115億円 170億円（55億円の増加）
- ・本計画案・基金残高 603億円 559億円（44億円の減少）
- ・本計画案・市債残高 120億円 252億円（132億円の増加）

②今回の歳出について、インフレによる増加についてどのような見解をお持ちか伺います。また、前回からの変化・影響額を把握されているか伺います。

③財政状況の指標の一つに経常収支比率がありますが、この指標には投資的経費が含まれていません。公共施設の更新が続く武蔵野市の場合、経常収支比率が低いからといって大丈夫だという話にはならないと考えていますがご所見を伺います。また、今後の市のより実態に近い財政状況を表す指標として投資的経費を含めた修正経常収支比率のようなも

のも管理指標の一つにしなければならないと考えますが、ご見解を伺います。

- ④将来人口推計について、今後、見直しされるということです。現在の推計方法は、人口が市に流入する方と流出する方の差に対して分母を武蔵野市の人口とした純流出入率を使っていますが、より正確に推定するためには流入する方の分母は国民全体、流出する方は武蔵野市の人口とする必要があると考えますが、いかがお考えでしょうか。先日、市民の方から、今の推計方法では、国全体の人口減少の影響が織り込まれないので人口が過大になるという意見がありました。今回見直しが必要になったのはこれまでの推計値と実態に乖離が出たためであります、この推定方法に問題があったためだと考えています。
- ⑤外部の専門家・有識者による行財政改革を推進するための委員会は令和18年度を最後に行われていません。歳出の状況も求められる政策も大きく変わっています。市職員の縦方向のチェックだけでなく、専門家・有識者による横方向からのチェックが行われるような委員会設置が早急に必要だと考えますが、ご見解を伺います。

小林まさよし